

練習試合 平成 29 年 10 月 01 日 矢掛高校 V S 崇徳高校 @倉敷工業高校グラウンド

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
矢 掛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
崇 徳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

矢：花岡一小池

文責：国定 和佳（普通科総合コース）

矢掛高校の先発マウンドには、1 年生右腕の花岡（木之子中）が上がる。

1 回表、崇徳高校の攻撃。花岡は危なげない立ち上がりを見せ、三者凡退に抑える。

1 回裏、矢掛高校の攻撃。一死から三澤（真備東中）が中前打を放ち、失策の間に二塁まで進む。続く大山（小北中）も失策となり一死一・二塁。続く猪原（高屋中）の遊ゴロで三塁封殺。しかし、ここでダブルスチールを決め二死二・三塁とチャンスが拡大するが、三ゴロに抑えられ、先制点を奪えない。

2 回表、崇徳高校の攻撃。先頭打者に左前打を放たれ、さらに犠打を決められ、先制のピンチとなるが、三振と投ゴロでピンチを脱する。

3 回裏、矢掛高校の攻撃。二死から三澤が中越三塁打を放ち、またもや先制点のチャンスを迎えるも投ゴロで、得点を挙げられない。

4 回裏、矢掛高校の攻撃。一死から小池（総社西中）が死球により出塁するも後続が連続捕邪飛に倒れる。

5 回表、崇徳高校の攻撃。花岡の好投により、三者凡退。

5 回裏、矢掛高校の攻撃。一死から上山（木之子中）が四球により出塁し、続く小川（真備中）が左前打を放つ。ここでこの試合当たっている三澤が打席に立つも、一本が出ず無得点。

6 回表、崇徳高校の攻撃。この回も三者凡退に抑える。花岡は、二回から 15 人連続アウトを奪う力投。

6 回裏、矢掛高校の攻撃。一死から小池が右前打を放ち盗塁も決める。二死から真砂（木之子中）が痛烈な中前打を放ち、二塁走者が一気に本塁を狙うが好返球でタッチアウトとなり、点を奪えない。

7 回表、崇徳高校の攻撃。二死から四球を与え、出塁されるも捕手：小池が盗塁を刺し、三人で守備を終える。

7 回裏、矢掛高校の攻撃。先頭打者の花岡が内野安打を放ち、連続犠打で二死三塁とするが、無得点。

8 回表、崇徳高校の攻撃。先頭打者に左前打を放たれ、二死三塁とされるが、最後は二ゴロで得点を与えない。

9 回表、崇徳高校の攻撃。先頭打者に内野安打を放たれる。次打者の犠打は三飛となり、一死。しかし続く打者には進塁打を許し、土壇場でピンチとなる。さらに、中前打を放たれ、二死一・三塁の大ピンチを背負うが、花岡が投じた 108 球目の直球で詰ませ投ゴロ。ピンチを脱し、最終回の攻撃に繋げる。

9 回裏、矢掛高校の攻撃。先頭打者の森上（総社西中）が四球で出塁し、代走：赤木（小北中）が送られる。続く真砂の打球を相手投手が好捕し併殺。チャンスを作れず試合終了。

矢掛高校は 0 - 0 で強豪の崇徳高校と引き分けた。今回の試合では、守備面では、弾いた打球をカバーし、連動した守備ができていたように思う。また、落ち着いた守備も随所に見え、良かったと思う。打撃面では安打が多く見られたがチャンスを活かせず、点を奪うことができなかった。県大会でも多くの安打を打てるように日々の練習に取り組んで、チーム一丸となって頑張っていきたい。

新チームの戦績

1 5 勝 2 敗 3 分